

(認定こども園すこやか)

1 2・3号定員 235名
1号定員 15名

在籍児 300名 (令和7年3月31日現在)

	0才	1才	2才	3才	4才	5才	合計
2・3号	34名	51名	51名	43名	50名	53名	282名
1号				7名	7名	4名	18名
合計	34名	51名	51名	50名	57名	57名	300名

2 職員配置状況 (令和7年3月31日現在)

常勤	常勤的非常勤	短時間非常勤	派遣	嘱託医	講師他	合計
50名	39名	21名	0名	4名	7名	121名

園長 1名 副園長 1名 主幹保育教諭 2名 保育教諭 68名 保育補助 22名
看護師 1名 栄養士 1名 調理師 3名 調理員 1名 事務員 5名
警備員 1名 雑務員 4名 嘱託医 4名 薬剤師 1名 発達相談 2名
講師 4名

3 保育事業実績状況

(1) 月別利用状況(在園児) (各月1日現在の在籍数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
0才	18	19	20	24	24	28	30	33	33	34	34	34	28
1才	48	49	51	51	51	51	51	50	50	50	50	51	50
2才	47	49	50	51	51	51	51	51	51	51	51	51	50
3才	42	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43
4才	51	51	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
5才	51	51	51	52	52	52	52	52	52	53	53	53	52
2・3号計	257	262	265	271	271	275	277	279	279	281	281	282	273
3才	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
4才	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
5才	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
1号計	17	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
合計	274	279	283	289	289	293	295	297	297	299	299	300	291

(2) 延長保育利用状況
令和6年度のべ利用人数・・・2,785名

(3) 年間保育内容

4～6月	入園式、進級式、種まき、こどもまつり、保護者会(リモート)、育児講座、交通安全教室、不審者対策、どろんこ遊び、教育・保育開放…等
7～9月	七夕、年中・長キャンプ、すこやか祭り、お楽しみ会、引取訓練、プール遊び、流しそうめん…等
10～12月	運動会、秋の遠足、稲刈り、すこやかフェスティバル、イモ堀り、共同募金、クラス懇談会、クリスマス会、味噌作り、米収穫祭等
1～3月	どんど焼き、おもしろワールド、節分、教育保育参観、マラソン大会、クラス懇談会、ドッジボール、育児講座、さよなら遠足お遊戯会、不審者対策、卒園式・・・等

その他の保育内容

誕生会、わくわくレストラン、避難訓練、内科健診、歯科検診、乳児検診、体操(2才児～年長)
一日保育士・調理員、異年齢交流、交番・消防署訪問、小学生との交流保育、障害者との交流、
クッキング、(1歳児～年長)、英語(3歳児～年長)、書道(年長)、手話(年長)、
個別面談、リトミック(年中)、ICT教育(3歳児～年長)、ダンス(年中長)、
ICT教育(3歳児～年長)、ダンス(年中長)、わらべ歌(乳児)、リズム遊び(乳児)、
水泳指導(年長)、障害児親の会コーディネーター…等

4 園児の健康管理状況

内科健診(年2回～4回(年齢による)) 歯科検診(年2回)、身長・体重測定、全園児尿検査、予防接種促進追跡、カウプ指数管理(年2回～3回(年齢による))、すくすくだより(年12回)・・・等

5 障害児保育の状況

令和6年度 障害児在籍状況

26名

障害内容・・・ 自己免疫性リンパ増殖症候群
自閉スペクトラム

6 子育て支援事業の状況

(1) 一時預かり利用状況

令和5年度 特定保育利用計画 のべ人数・・・ 0人/年

令和5年度 一時預かり利用 のべ人数・・・ 26人/年

(2) 主な子育て広場事業

- ・地域の育児や保育資源等に関する情報提供
情報誌の発行、育児相談、とらちゃん文庫(本の貸し出し)等
- ・子育てに関する講座、研修会の実施
育児講座の実施、ベビーマッサージ講習会の実施、マタニティー講座
- ・子育て家庭の交流事業
園庭開放、親子サロン、すこやかドレミ、あいちゃんひろば
つくってあそぼう、いっぱいあそぼう交流保育 等

7 職員研修・職員会議の実施状況

(1) 施設内研修

横山G内職員全体研修(年3回)、カリキュラム研究会、関係保育研究会、乳児研究会、幼児研究会、保育教材研究会、給食研究会、事務所研究会、AED取扱研修、職員資質向上研修(外部講師)、保育内容研修(外部講師)等

(2) 施設外研修

勤続2年目以降の職員による外部研修(体操、保育、音楽、障害、ダンス、資格更新講習、キャリアアップ講習等)

(3) 会議

職員会議、ケース会議、給食検討会議、安全運転会議、行事検討会議、安全衛生乳児会議、幼児会議、リーダー会議、保育検討会議、事務連絡会議、子育て検討男性保育士合同会議、主任会議、クラス会議・・・等

8 防災・防犯活動状況

(1) 防災活動状況

避難訓練（8回/年）、引取訓練（年1回）、通報訓練（年3回）

- ・活動… 消防合同避難訓練（年1回）、緊急連絡メール配信テスト（年1回）
地域協力者との共同訓練、非常時マニュアル整備、非常食購入、
備品整備・・・等
- ・備品… 防災倉庫、ランタン、無停電電源装置

(2) 防犯活動状況

- ・活動… 不審者訓練（年2回）、事件情報の掲示、登降園時の警備、門施錠、
自動ドアの手動切り替え、不審者侵入時行動マニュアル整備
- ・備品… さすまた

9 保護者会・クラス懇談会の実施計画

- ・年間2回の活動見学会
- ・年間2回の保護者会、クラス懇談会
- ・年間2回個別面談等

10 施設設備整備・修繕の実施状況

(1) 施設設備整備

車輛運搬具	・ ニッサンモコ	176 千円
車輛運搬具	・ コーギー2	3,099 千円
器具及び備品	・ ガス回転釜	900 千円
器具及び備品	・ コールドテーブル2台	548 千円
器具及び備品	・ ペクロンポータブル電源	125 千円
器具及び備品	・ 跳び箱	119 千円

(2) 修繕の実施状況

・ 排水管洗浄	280 千円
・ 製氷機修繕	104 千円
・ 床暖房コントローラー修繕	72 千円

11 令和6年度特殊事情

分園の拡充が完了し、横山グループの中核を担うだけの実績を
上げることが出来た。

12 収支状況
(1) 人件費

人件費支出 455,482,299 事業活動収入 552,795,857 人件費率 82.4%

	令和5年度	令和6年度	前年度との差額	
職員本俸	143,241,360	162,627,240	19,385,880	増額
職員諸手当	56,282,914	62,399,288	6,116,374	増額
非常勤職員給与	112,578,452	129,731,841	17,153,389	増額
職員賞与	49,835,322	48,360,688	△1,474,634	減額
派遣職員費	0		0	減額
退職給付費	2,946,630	3,974,500	1,027,870	増額
法定福利費	45,877,627	48,388,742	2,511,115	増額

(2) 施設型給付費

令和5年度	令和6年度	前年度との差額
380,188,200	429,587,980	49,399,780

(3) 主な支出

車輻運搬具	・ ニッサンモコ	176 千円
車輻運搬具	・ コージー2	3,099 千円
器具及び備	・ ガス回転釜	900 千円
器具及び備	・ コールドテーブル 2台	548 千円
器具及び備	・ ペクロンポータブル電源	125 千円
器具及び備	・ 跳び箱	119 千円

総括

令和6年度は分園はぐくみの室内の拡張を6000万程の経費で設備整備しました。拡張の目的の本園の2歳児、分園の2歳児との合同で保育室にゆとりがない状況の改善が図られゆったりと安心して生活できる環境を保障することが出来ました。

又分園整備で定員増とし2,3号分園45名、本園211名全体256名、1号認定15名で271名となりました。昨今の少子化で定員の充足が懸念されましたが定員以上の申し込みがあり問題なく運営が出来ました。

子ども達の生き生きとした生活の保障の為に色々な活動に取り組める環境を大切に出来た。遊び場の拡張、低年齢から遊びをベースにした楽しむ教育活動の充実、そして心身の発達に応じた体操活動等職員が研修等で学びつつ実践に生かして行きました。

各年齢に在籍している支援児への対応には個別から属するグループへのスムーズな移行や保護者相談などで安心して活動出来る生活の空間を大切に出来ました。

今年度開所した児童発達支援事業所とらいあんぐるの支援活動から子どもが共に活動に参加する等の支援にも重点を置きました。

職員は互いに学び合い、連携し仕事に意欲的に取り組める環境で勤務内に子どもから離れて記録作業等も保障し業務負担軽減を図る等良好な勤務状況を進めています。

又年度数回の講師を招聘しての研修内容は欧州の保育環境事情や虐待についてなど学び、又今年度からDBSの登録に職員に周知し職員の資質等への意識を確実にしていきました。

来年度に放課後デイサービスやグループホームの開所準備も含めて横山グループの核として今後も確実に進めていくこととしていきます。

大きな不測事態や事故もなく安全に過ごせたことは真摯に取り組む職員の力の結集であり、その為にも職員の労働環境改善の着手も怠らずに取り組んでいきたい。職員でタイムカードの方式も考案するなど研究開発にも取り組んでいます。

全職員や地域等に感謝し次年度に繋げていきます。